

プリンストン大学滞在を終えて

理学系研究科地球惑星科学専攻 博士課程2年 平林孝太

ALPS 海外派遣プログラムを利用して、2ヶ月半という短い期間ではあるがプリンストン大学天体物理学グループの Stone 教授の研究室を訪問した。滞在中は無衝突降着円盤の磁気流体シミュレーションに取り組み、コード開発・初期結果の解析までが無事完了した。

今回、滞在期間中に Halloween, Thanksgiving, Black Friday, Christmas と様々なイベントがあり、感謝祭には Stone 教授の自宅でのパーティーにも招いていただいた。他にも電車で一時間の NY へ繰り出し、ブロードウェイで運良くミュージカルの格安チケット抽選に当選するなど、研究以外にも非常に充実した滞在であった。しかし総じて、プリンストンでの生活は金がかかる。物価の高さもさることながら、寮費や授業料の支払い、入寮者に課せられる食事プランの契約、New Jersey 居住者に求められる予防接種など、高額な支払いが数多く発生する。ALPS のプログラムを利用してプリンストン滞在を計画している学生は注意されたい。



派遣者が滞在した大学院生向けの寮
雰囲気はいいがダイニングの評価は低い



NYC タイムズスクエアにて